

東北の特徴を活かした外国との交流推進のための 概要調査

調査の目的と概要

目的

観光は交流人口の拡大を通じて地域を活性化することから、東北圏の恵まれた自然系の観光資源等を活かした外国との交流を推進するための方策の検討に資する調査及びとりまとめを行う。

調査内容

- 外国人旅行者を対象に、「東北」の認知度、観光地の選択理由、日本国内各圏域に対する観光資源への期待や満足度等を他の圏域と比較しながら定量的に把握する。
- 日本在住の外国人の方を対象に、東北に対するイメージ等を定性的に把握する。

調査方法

- 全国13空港の出国待合室において、ヒアリングアンケート調査を実施。サンプル数 2,093。

【実施空港】

(東北地方)

仙台空港：127票、青森空港：16票、秋田空港：19票、
福島空港：18票、新潟空港：29票

(東北以外)

新千歳空港：213票、成田空港：934票、羽田空港：270票、
中部国際空港：224票、小松空港：43票、広島空港：37票、
福岡空港：134票、鹿児島空港：29票

- 東京において、日本在住の外国人4人に対してグループインタビュー調査を実施。

【グループインタビュー調査の参加外国人の属性】

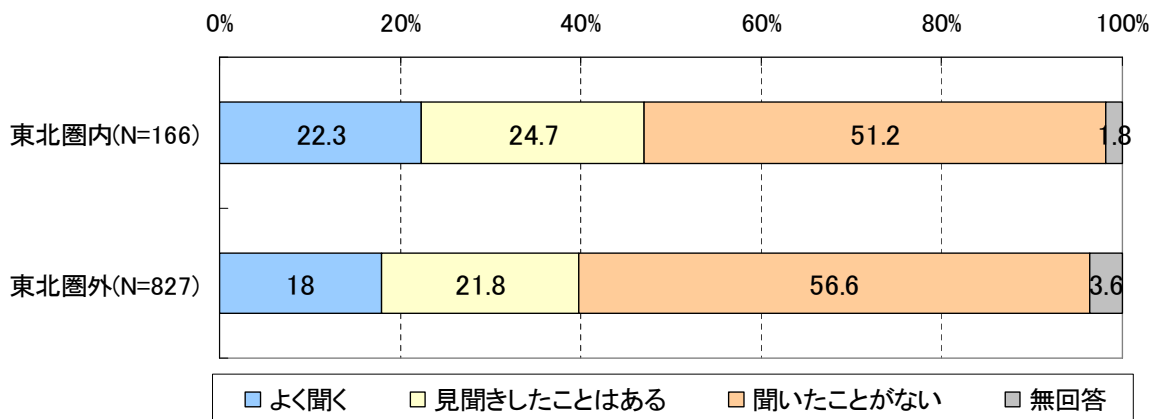
米国人(女性)、英国人(男性)、韓国人(男性)、台湾人(女性)

ヒアリングアンケート調査結果

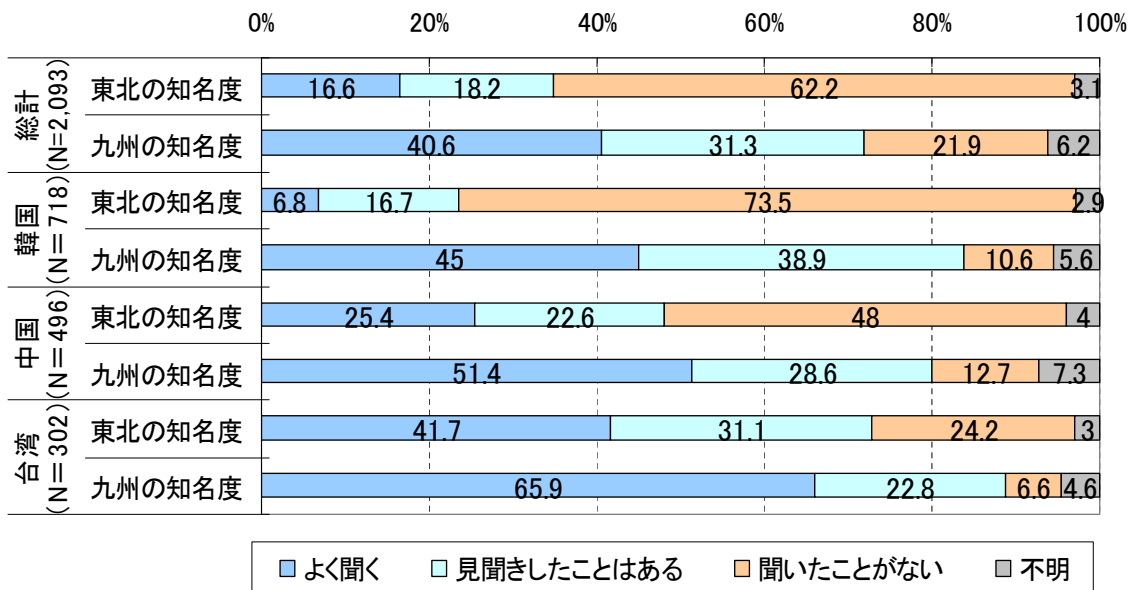
「東北」の知名度

- 東北圏内への観光客の方が東北圏外への観光客よりも「東北」の知名度（「よく聞く」「見聞きしたことがある」との回答割合）が約7%高い。
- 外国人旅行者にとって「東北」の知名度は（35%）、「九州」（72%）に比べて低い。

【東北圏内の観光有無別に見た「東北」の知名度】



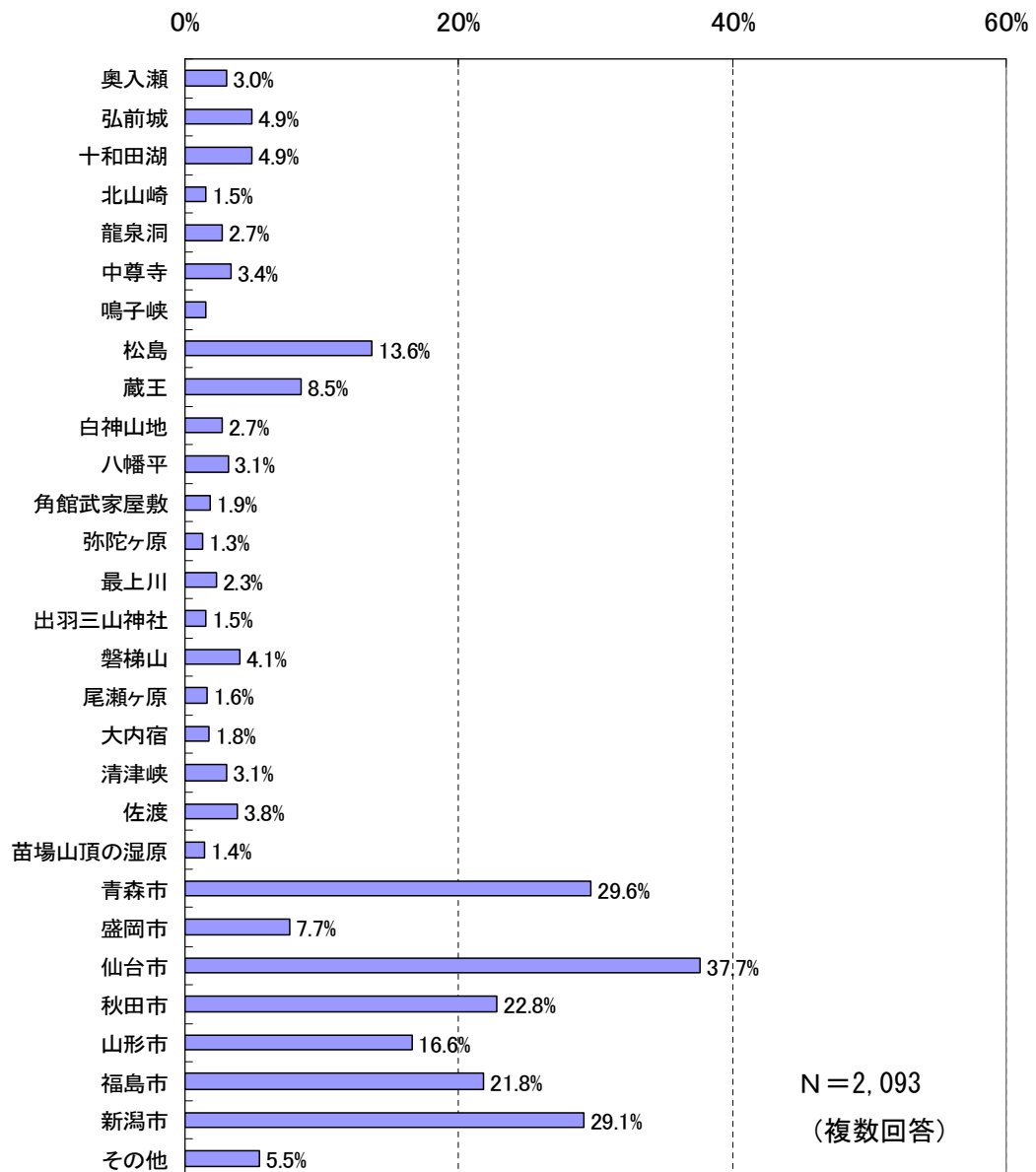
【「東北」、「九州」の知名度】



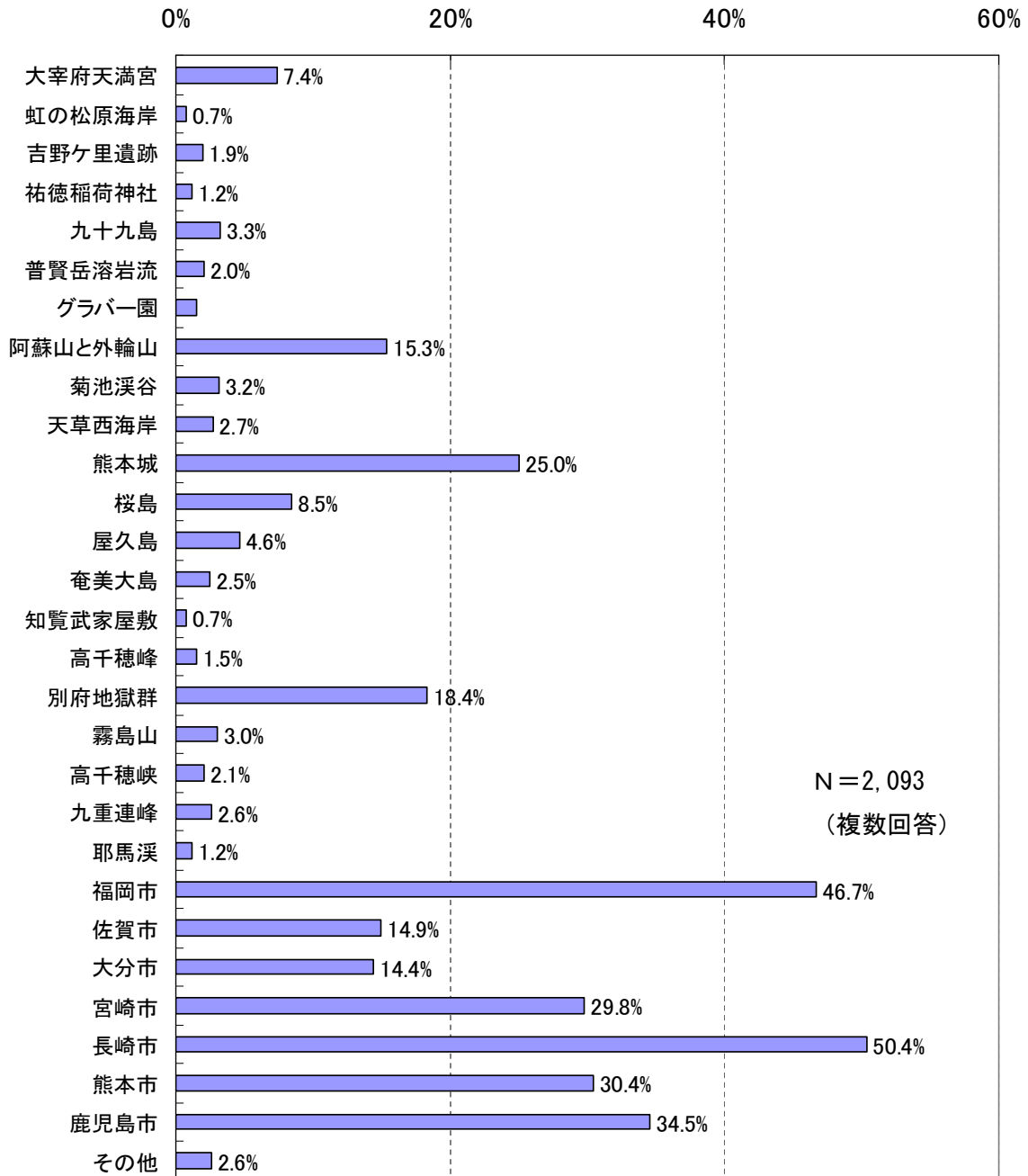
観光資源及び都市名の知名度

○観光資源としては、「松島」、「蔵王」の知名度（約14%、9%）が高くなっている。都市名は仙台市（約38%）が最も高くなっている。しかし、全体的に、九州の観光資源及び都市名の知名度の方が高くなっている。例えば、観光資源については、九州の「熊本城」が約25%、「別府地獄群」が約18%、「阿蘇山」が約15%、都市名についても、九州の「長崎市」が約50%、「福岡市」が約47%、「鹿児島市」が約35%に知られている。

【「東北」の観光資源及び都市名の知名度】

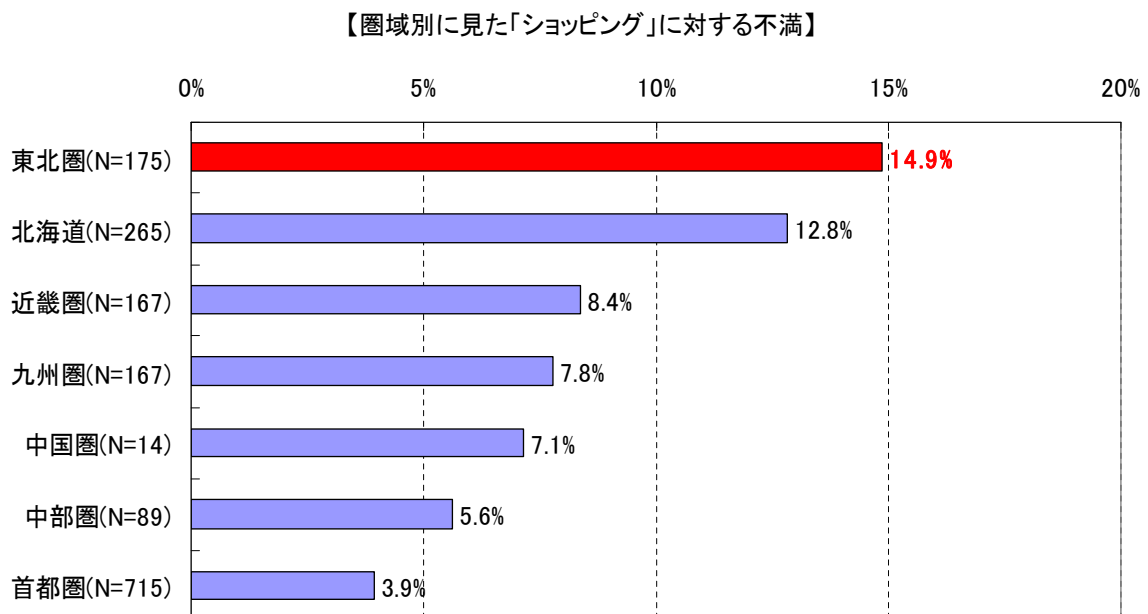
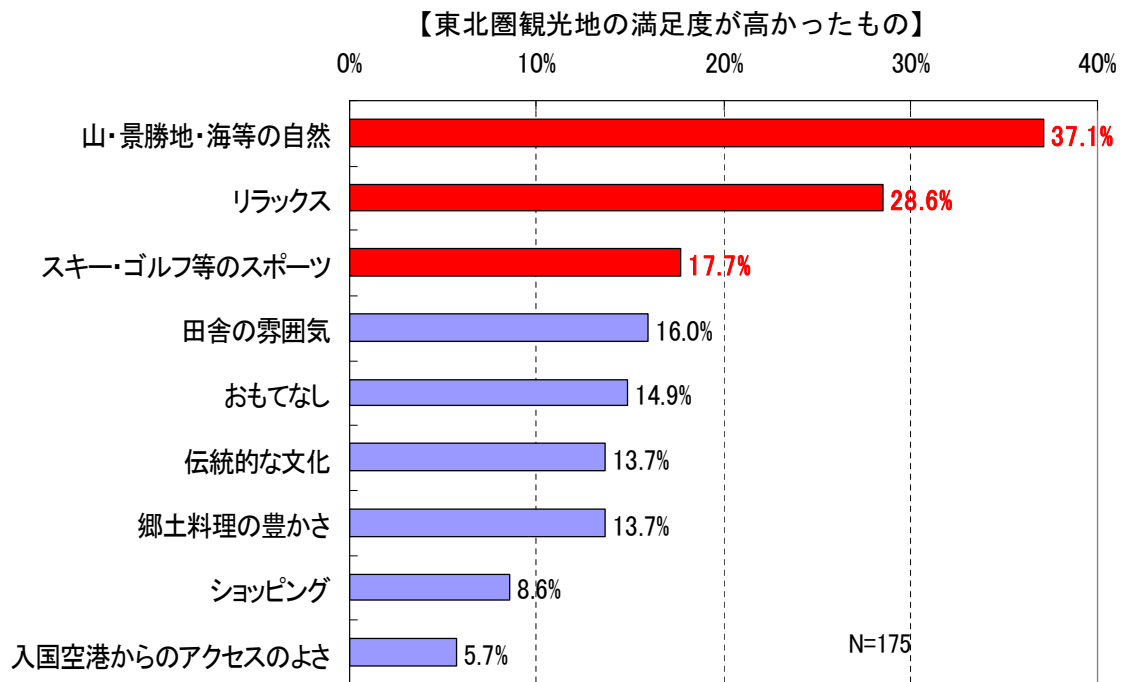


【「九州」の観光資源及び都市名の知名度】



観光地の満足度

- 東北圏への観光客の満足度の高い項目のうち、上位3つは「山、景勝地、海等の自然」（約37%）、「リラックス」（約29%）、「スキー・ゴルフ等のスポーツ」（約18%）となっており、観光客の期待と同様。
- 東北圏への観光客のうち、約15%が「ショッピング」に対しての満足度が低く、全圏域の中で最大。



グループインタビュー調査結果

○得られたキーワード

【東北のイメージ】

「自然」、「歴史・文化」、「遠い」、「言語障壁」、「場所がわからない」

【観光情報の提供】

「情報が少ない」、「ストーリー性のある情報」

【観光地の魅力について】

「リラックス」

ヒアリングアンケート調査結果及びグループインタビュー調査結果に基づき、東北圏の課題は次のように整理される。

東北地方の観光の課題

- 東北の知名度は低い。
- 東北地方の観光資源は外国人観光客にとっておおむね満足するものである。
- 観光客の満足度が極端に低い項目（ショッピング）がある。
- 外国人観光客はストーリー性のある情報を求めている。